

自衛隊から「バス運転手」へ

～新たな道への挑戦！～

奈良交通には、自衛隊出身の再就職者が多数在籍中！



令和7年3月 奈良交通入社

板倉恒児氏

新たな道への挑戦

昭和62年3月の陸上自衛隊入隊以来、3つの施設科部隊、そして奈良地方協力本部での勤務を通じ、37年間奉職いたしました。多くの良き先輩や同僚に恵まれ、支えられ、未熟だった自分を成長させてくれた自衛隊には感謝しかありません。

定年が視野に入り、家族と真剣に話し合った結果、自衛隊で培った経験やスキルを活かし、即戦力として社会貢献できる再就職先を自ら模索することを決意。その思いを援護課に伝え、具体的な活動を開始しました。そんな中、奈良交通株式会社の求人が目に留まり、会社見学での説明や観光バスの体験試乗を通じて、地域貢献しながら働く自身の姿を具体的にイメージでき、大きな車両を操縦できる自信も湧きました。家族の温かい後押しも得て、採用試験に臨みました。採用試験の運転実技は緊張しましたが、これまでの経験を信じ無事終了。面接では、自衛隊勤務で培った安全管理能力、車両操縦能力、危機管理能力を活かし即戦力として貢献したいという熱意を伝え、幸いにも採用していただきました。

令和7年2月自衛隊を定年退職し、翌3月奈良交通へ入社。研修センターでの座学、基本運転教習、路上教習を経て4月16日に京都営業所へ配属となりました。研修期間中は、自衛隊時代に叩き込まれた規律遵守、基本動作が自然と身についていたことが役立ち、朝礼での国旗掲揚や社歌斉唱など、懐かしさと共に培ってきた文化の大切さを再認識しました。

運転については、前職での大型車両の運転経験から問題ないと考えていましたが、研修で最も重要だと教わったのは、単なる運転技術ではなく「バス運転者としての心構え」でした。安全運行への意識は自衛隊時代から持っていましたが、実際にお客様を乗せる責任の重みは格段に違います。

「今まで以上に安全を最優先した行動を徹底し、お客様に『また奈良交通のバスに乗りたい』と思っていただけるような温かい接客を心掛け、地域社会に貢献できるようになること」。

そのためには、日々の業務で常にバス運転者としての心構えを持ち続ける必要があると痛感しています。奈良交通の運転者として真に活躍できるよう、今後も真摯に勤務経験を積む所存です。

◎ これから定年退職を予定されている自衛隊員の皆様へ

私のために尽力くださった方々に感謝します。自衛隊は手厚い再就職支援を実施してくれます。教育参加前に将来を真剣に考え、教育後は継続して自身を見つめ直し、具体的な目標を設定することが重要です。

日々の業務に追われがちですが、最終的に道を決めるのは自分自身。どうか背伸びせず、ありのままの自分で自信を持って就職活動に臨んでください。